

## 一般社団法人チームまちづくり設立記念

# 絆（KIZUNA）を活かした地域の再生

## STUDIO WORKSHOP

人口減少と高齢化の進むわが国において、効果的かつ持続可能なまちづくりをすることが必要です。それには、特区などを活用して、コンパクトシティ(低炭素社会の実現)×ライフスタイルのブランド化(産業振興)を実現していくことが重要です。主体は、住み続けたいと思う住民です。今回の東日本大震災では、「絆」が地域社会に息づいていることが確認されました。

その絆を活かすためには、住民が主体的にまちづくりを行なうことを支援できる専門家が 필요합니다。そのためには、住民、専門家など、様々な人たちが参加できるプラットフォームづくりが大切と考え、ここに、一般社団法人チームまちづくりを設立しました。そこで、今回は、チームまちづくりの設立趣旨を皆様に広くお知らせするとともに、チームまちづくりがめざす復興のプロセスや姿をスタジオワークショップの形式で考える催しを行います。

日時/場所

**2012年6月26日（火）13:00～15:30（12:30開場）**  
**銀座TSビル震災復興ショップ内 2階イベントホール**

（中央区銀座5-2-1 数寄屋橋交差点の 阪急モザイクのあるビル）

### 第1部 記者会見

13:00～13:30

大西隆理事長等より、一般社団法人チームまちづくりの設立趣旨、これまでの取組み、今後の活動方針などについて説明します。また、これまでの取組みでは、衰退傾向のある地方のまちづくりのこれからのあり方として、まちづくり会社による復興まちづくりの新しい展開について、その要旨をご提案します。

### 第2部 スタジオワークショップ

#### 1 現地発の問題提起

13:30～14:10

石巻まちなか創生会議/気仙沼震災復興市民委員会/釜石鶴住居まちづくりセンター 他

#### 2 まちづくり会社はなぜ必要か

14:10～14:40

地元とともにまとめてきたまちづくり会社による復興の具体的方法について説明しながら、まちづくり会社の必要性、課題とその対応方法などについて考えます。

#### 3 スタジオワークショップ

14:40～15:30

都市と農村の連携による地域循環型の復興まちづくりプロジェクト案を、参加者とともに検討・立案して議論をいいます。

ワークショップは、もともとは「工房」などの意味で、共同で何かをつくる場所を意味していました。現代では、参加者が自ら参加・体験し、双方向的創造のスタイルとして定義されています。スタジオは、本来は、芸術家の仕事場(アトリエ・工房)のこと。ここでは、復興まちづくりのクリエイティブな具体のプロジェクトを立案する作業の場として、スタジオワークショップと称します。